安全にお使いいただくために必ずお守りください

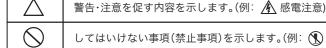
お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本製品を安全にお使いいただくために守っていただきたい事項を記載しました。
正しく使用するために、必ずお読みになり内容をよく理解された上で、お使いください。なお、本書には弊社製品だけでなく、弊社製品を組み込んだパソコンシステム運用全般に関する注意事項も記載されています。
パソコンの故障／トラブルや、データの消失・破損または、取り扱いを誤ったために生じた本製品の故障／トラブルは、弊社の保証対象には含まれません。あらかじめご了承ください。

使用している表示と絵記号の意味

警告表示の意味

表示	意味
警告	この表示の注意事項を守らないと、使用者が死亡または、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
注意	この表示の注意事項を守らないと、使用者がけがをしたり、物的損害の発生が考えられる内容を示しています。

絵記号の意味

△ ⃠ ● の中や近くに具体的な指示事項が描かれています。

記号	意味
△	警告・注意を促す内容を示します。(例： 感電注意)
⃠	してはいけない事項(禁止事項)を示します。(例： 分解禁止)
●	しなければならない行為を示します。(例： プラグをコンセントから抜く)

⚠ 警告

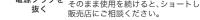
強制

電源ケーブルは、必ず本製品付属ものを使用してください。
付属品以外の電源ケーブルでは、電圧や端子の極性が異なることがあるため、発煙や発火、本製品の故障の原因となる恐れがあります。

分解禁止

本製品の分解・改造・修理を自分でしないでください。
火災・感電・故障の恐れがあります。また本製品のシールやカバーを取り外した場合、修理をお断りすることがあります。

電源プラグを抜く

煙が出たり変な臭いや音がしたら、すぐに本製品の電源スイッチをOFFにし、電源プラグを抜いてください。
そのまま使用を続けると、ショートして火災になったり感電する恐れがあります。弊社サポートセンターまたはお買い求めの販売店にご相談ください。

電源プラグを抜く

本製品を落としたり、強い衝撃を与えたりした場合は、すぐにパソコンおよび周辺機器の電源スイッチをOFFにし、電源プラグを抜いてください。
そのまま使用を続けると、ショートして火災になったり感電する恐れがあります。弊社サポートセンターまたはお買い求めの販売店にご相談ください。

禁止

本体やケーブルの上に物を置かないでください。
故障や火災の原因となることがあります。

禁止

故障した状態(画面に何も表示されないなど)で使用しないでください。
そのまま使用すると火災や感電の恐れがあります。

強制

ケーブル類を抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。
ケーブル部分を持って引き抜くと感電や断線の原因となります。

電源プラグを抜く

落雷による事故防止のため、近くで雷が発生したときは電源スイッチをOFFにし、ACコンセントから電源プラグを抜いてください。

電源プラグを抜く

本製品の取り付け、取り外しをするときは、本製品およびパソコン、周辺機器の電源スイッチをOFFにし、ACコンセントから電源プラグを抜いてください。
電源ケーブルがACコンセントに接続されたまま取り付け、取り外しを行うと、故障や感電の原因となります。

⚠ 注意

電源プラグを抜く

液体や異物などが内部に入ったら、すぐに本製品の電源スイッチをOFFにし、ACコンセントから電源プラグを抜いてください。
そのまま使用を続けると、ショートして火災になったり、感電する恐れがあります。弊社サポートセンターまたはお買い求めの販売店にご相談ください。

強制

小さなお子様が電気製品を使用する場合には、本製品の取扱方法を理解した大人の監視、指導のもとで行うようにしてください。

強制

電気製品の内部やケーブル、コネクタ類に小さなお子様の手が届かないように機器を配置してください。
さわってけがをする恐れがあります。

強制

静電気による破損を防ぐため、本製品に触れる前に身近な金属(ドアノブやアルミサッシなど)に手を触れ、身体の静電気を取り除くようにしてください。
人体などからの静電気は、本製品を破損させる恐れがあります。

禁止

ゴムやビニル製品を長時間接触させておかないでください。
本製品の表面が変質したり、はげたり、ゴムやビニルが付着してとれなくなることがあります。

液晶ディスプレイについて

警告

万一、液晶パネルが破損し、内部の液状の物質が皮膚に付着したときは、流水で15分以上洗浄し、念のため医師に相談することをおすすめします。目に入った場合は、流水で15分以上洗浄した後、必ず医師に相談してください。液晶パネル内部には、刺激性物質が含まれています。

使用するとき

注意

シャープペンシルや鉛筆など先のとがったものに注意してください。
液晶パネルに先のとがったものや硬いものを当てたりこすったりすると、傷がついたり割れたりすることがあります。また、長い爪も液晶パネルの損傷の原因となりますので、注意してください。

強制

水分はすぐに拭き取ってください。
水滴や唾液などの水分が付着したまま長時間放置しないでください。液晶パネルの変形や退色の原因となります。

注意

長時間、連続してディスプレイを見続けないでください。目の疲労防止のため、適度に休憩を取りながら使用してください。

禁止

液晶パネルの表面は傷がつきやすいため、むやみに触れたり、こすったり、たたいたりしないでください。

禁止

パソコンの電源スイッチがONになったままの状態で、ディスプレイケーブルのコネクタを抜き差ししないでください。また、使用中はコネクタが抜けないように、必ずコネクタのネジで固定してください。

お手入れ

禁止

液晶パネルを乾拭きしないでください。
液晶パネルが汚れたときは、柔らかい布やガーゼに無水アルコール(イソプロピルアルコール)を含ませて、軽く拭いてください。

禁止

溶剤を使用しないでください。
液晶パネルをベンジンやシンナーなどの溶剤や水などで拭かないでください。液晶パネルが溶けたり、退色の原因となります。

電源プラグを抜く

お手入れの際はパソコンの電源スイッチをOFFにし、ACコンセントから電源プラグを抜いてください。
お手入れの前に、必ず本製品を接続したパソコンの電源スイッチをOFFにし、ACコンセントから電源プラグを抜いてください。感電の危険があります。

注意

液晶パネルに無理な力が加わらないように注意してください。
液晶パネルに圧力が加わると、その部分の表示が波打ちます。これは、ガラス板間に注入した液晶の配光が乱れるためです。強い圧力をかけると、乱れた配光が元に復帰しない場合があります。

使用環境

注意

直射日光、高温・多湿に注意してください。
直射日光が当たる場所や周囲の温度が35℃を超えるような場所、極端に湿度が高い場所では使用しないでください。本製品表面の変色、液晶パネルの劣化や表面のはがれ、気泡が発生するなどの原因となります。

強制

使用条件を守って使ってください。
温度(10～35℃)・湿度(結露なきこと)の使用条件内でご使用ください。使用条件外で使用すると、寿命や劣化を早めたり、表示品質の劣化(しみ、汚れなど)の原因となります。

注意

低温に注意してください。
室温が10℃以下になる場所で使用すると、表示品質が低下したり、気泡が発生するなどの原因となります。また、液晶の特性が変化して元に戻らなくなることがあります。

注意

急激な温度変化に注意してください。
動作中の急激な温度変化は、故障の原因となります。

禁止

次の場所には設置しないでください。
感電、火災の原因となったり、故障の原因となります。
・強い磁界が発生するところ……………故障の原因となります。
・静電気が発生するところ………………故障の原因となります。
・振動が発生するところ…………………けが、故障、破損の原因となります。
・不安定なところ…………………………転倒したり、落下して、けがや故障の原因となります。
・火気の周辺、または熱気のこもるところ……故障や変形の原因となります。
・漏電の危険があるところ………………故障や感電の原因となります。

長期間使用しないとき

強制

直射日光が当たらない暗い場所に保管してください。
長期間使用しないときは梱包し、直射日光や蛍光灯の光が当たらない暗い場所に保管してください。また、低温・高温、多湿の場所は避けてください。

画面の焼き付きを防ぐには

強制

本製品を長時間使用しない場合は、スクリーンセーバーや省電力機能などを使用するか、こまめに電源をOFFにしてください。
同じ画面を長時間表示させていると、画面表示を切り換えても残像が残る「焼き付き現象」が生じることがあります。

FTD-G722AS3シリーズ　はじめにお読みください
2008年2月29日　第3版発行　発行 株式会社バッファロー

BUFFALO　35005432 ver.03 3-01　C10-012

FTD-G722AS3シリーズ マニュアル　はじめにお読みください

このたびは、本製品をご利用いただき、誠にありがとうございます。本製品を正しく使用するために、はじめにこのマニュアルをお読みください。お読みになった後は、大切に保管してください。

ステップ1　箱に入っているものを確認しよう

万がいち、不足しているものがありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。

□**液晶ディスプレイ本体……………………1台**

液晶パネル
スピーカー
設定ボタン
スタンド

- □**スタンド……………………………… 1個**
- □**ステレオケーブル(φ3.5mmジャック)… 1本**
- ☑**はじめにお読みください(本紙)……… 1枚**
- □**ACコード……………………………… 1本**
- □**ユーティリティディスク………………… 1枚**
- □**保証書、ユーザー登録はがき………… 1枚**

※ユーティリティディスクには、本製品の電子マニュアルやプログラムが収録されています。詳しくは、電子マニュアルを参照してください。
※ユーザー登録はがきは保証書を切り離した後、必要事項を記入の上、必ず弊社までご返送ください。また、切り離した保証書は大切に保管してください。
※付属のACコードは、本製品専用です。安全のため、本製品以外には使用しないでください。
※追加情報が別紙で添付されている場合は、必ず参照してください。

ステップ2　スタンドを取り付けよう

本製品は、出荷時にスタンドがはずれている状態で梱包されています。ご使用になる前に、本製品にスタンドを取り付けてください。

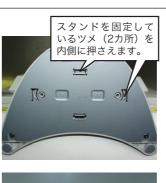
注意
- 本製品を机の上などの安定した台の上に置いて作業してください。
- 液晶パネルが傷つかないよう、台の上に柔らかい布などを敷いてください。

**右の写真の向きになるように液晶ディスプレイ本体にスタンドを取り付けます。
スタンドが固定されると、「カチッ」という音がします。**

メモ　スタンドの取り外し

本製品を箱に入れるときなど、スタンドを取り外す必要がある場合は、右の写真のように取り外してください。

- 本製品を机などの安定した台の上に置いて作業してください。
- 液晶パネルが傷つかないよう、台の上に柔らかい布などを敷いてください。
- スタンドを固定しているツメは、非常に固くロックされています。取り外しの際にツメを破損しないようご注意ください。
- スタンドの取り外しは、必要な場合(購入時の箱に入れて輸送する場合など)のみ行ってください。何度も取り外すとツメの部分が破損する恐れがあります。

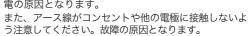
右上へつづく

ステップ3　パソコンに取り付けよう

注意
- ●作業を行う前にパソコンの電源スイッチをOFFにしてください。
- ●ACコードやディスプレイケーブル等各ケーブルの取り扱いによって、製品の内部で断線や接触不良が発生し、製品が故障する場合がありますので取り扱いに注意してください。
  - ・各ケーブル類は、本製品の角度調整などの際、引っ張られる場合がありますので、設置には少し余裕をもたせておいてください。
  - ・各ケーブル類を抜き差しする場合は、無理に曲げたり、引っ張ったりせず、製品やコネクタ部分に負担がかからないようにまっすぐに行ってください。
- ●別売のアームスタンド取り付け時にも、各ケーブル類を無理に曲げたりなどせず、コネクタ部分に負担がかからないようにしてください。

1. 本製品のディスプレイケーブルをパソコンに接続します。
※端子の向きを確かめて、垂直に奥まで差し込んだ後、両側のねじで固定します。
※パソコンのコネクタがD-sub15ピン(3列)アナログRGBコネクタでないときは、市販の変換コネクタを別途用意してください。

2. 付属のACコードを本製品に接続し、プラグをコンセントに差し込みます。

・コネクタに負担がかからないようまっすぐ差し込んでください。
・ケーブルが引っ張られないよう少し余裕をもたせてください。

注意
感電防止および電磁界輻射低減のため、ACコードに付いているアース線は必ず接地してください。
アース線は電源プラグをつなぐ前に接地し、電源プラグを抜いてから外してください。順序を守らないと感電の原因となります。
また、アース線がコンセントや他の電極に接触しないよう注意してください。故障の原因となります。

メモ
電源ONのとき本製品の電源ランプが緑色に点灯します。
次の状態のときは、電源ランプがオレンジ色に点灯します。画像は表示されません。
- パソコンから画像信号が入力されていないとき
- 本製品が対応していない画像信号が入力されているとき
- サスペンドモードになっているとき
  サスペンドモードは、キーを押したりマウスを動かすことで解除できます。

本製品の電源をONにしてからパソコンの電源スイッチをONにします。
以上で接続は完了です。

設定ボタンについて

液晶ディスプレイ前面の設定ボタンには次のような機能が割り当てられています。

シンボル	機能
MENU	・OSDメニューを開きます。 ・OSDメインメニューで選択されたOSDサブメニューを開きます。 ・OSDメニューが開いていないとき、5秒間押し続けると、OSDメニューのロック/解除ができます。
◀	・OSDメニュー画面でカーソルを左方向に移動します。 ・OSDメニューが開いていないとき、ECOモードの設定を行います。
▶	・OSDメニュー画面でカーソルを右方向に移動します。 ・OSDメニューが開いていないとき、コントラストの調整を行います。
⏻	電源のON/OFFを行います。
−	・OSDサブメニューで数値設定の変更(数値下降)を行います。 ・OSDメニューが開いていないとき、ミュートを設定します。
＋	・OSDサブメニューで数値設定の変更(数値上昇)を行います。 ・OSDメニューが開いていないとき、音量の調整を行います。
AUTO/EXIT	・OSDメニューを閉じます。 ・OSDサブメニューからメインメニューへ戻ります。 ・OSDメニューが開いていないとき、自動調整をします。

※詳細な設定ができるOSD(オンスクリーンディスプレイ)メニューについて詳しくは、ユーティリティディスクに収録されている電子マニュアル(PDFファイル)を参照してください。

次ページへつづく

ステップ4 インストールしよう

次の手順で本製品のハードウェア情報を登録してください。

Windows Vistaをお使いの場合

1. Windows Vistaを起動します。
2. [コントロール パネル]を開きます。画面左上の[クラシック表示]をクリックし、[個人設定]アイコンをダブルクリックします。
3. [画面の設定]をクリックし、[詳細設定]ボタンをクリックします。
4. [モニタ]タブをクリックし、[プロパティ]ボタンをクリックします。
   ※[ユーザーアカウント制御]画面が表示され、「続行するにはあなたの許可が必要です」と表示された場合は、[続行]をクリックしてください。
5. [ドライバ]タブをクリックし、[ドライバの更新]ボタンをクリックします。
6. 「ドライバソフトウェアの更新ー汎用PnPモニタ]画面が表示されたら、[コンピュータを参照してドライバソフトウェアを検索します]をクリックします。
7. [コンピュータ上のデバイスドライバー一覧から選択します]をクリックします。
8. 付属のユーティリティCDをパソコンにセットします。
9. [ディスク使用]をクリックします。
10. [製造元のファイルのコピー元]にユーティリティCDをセットしたドライブのドライブ名(例 E:¥)を入力し、[OK]ボタンをクリックします。
11. [モデル]に表示されたモニター名から「BUFFALO ＜製品名＞」を選択し、[次へ]ボタンをクリックします。
    ＜製品名＞には、お求め頂いた製品名が入ります。
12. [ドライバソフトウェアの発行元を検証できません]というメッセージが表示されたら、[このドライバソフトウェアをインストールします]をクリックします。
    ※このドライバの動作テストは弊社にて行っておりますので、インストールを続けてください。
13. [閉じる]ボタンをクリックします。
14. [閉じる]ボタンをクリックし、[OK]ボタンをクリックし閉じます。
15. [OK]ボタンをクリックし、[画面の設定]ウィンドウを閉じます。

以上でインストールは完了です。

Windows XP/2000をお使いの場合

1. [コントロールパネル]を開きます。画面左の[クラシック表示に切り替える]をクリックして、[画面]アイコンをダブルクリックします。
   ※Windows 2000の場合は[コントロールパネル]内の[画面]アイコンをダブルクリックします。
2. [設定]タブをクリックし、[詳細設定]ボタン(Windows 2000では[詳細]ボタン)をクリックします。
3. [モニタ]タブをクリックし、[プロパティ]ボタンをクリックします。
4. [ドライバ]タブをクリックし、[ドライバの更新]ボタンをクリックします。
5. Windows XPの場合は、「ソフトウェア検索のため、Windows Updateに接続しますか？」と表示されますので、[いいえ、今回は接続しません]を選択して[次へ]ボタンをクリックします。
   Windows 2000の場合は、ドライバのインストール画面が表示されたら、[次へ]ボタンをクリックします。
6. Windows XPの場合は、「一覧または特定の場所からインストールする」をクリックし、[次へ]ボタンをクリックします。
   次の画面に進んだら、[検索しないでインストールするドライバを選択する]をクリックし、[次へ]ボタンをクリックします。
   Windows 2000の場合は、「このデバイスの既知のドライバを表示して、その一覧から選択する」をクリックし、[次へ]ボタンをクリックします。
7. 付属のユーティリティCDをパソコンにセットし、[ディスク使用]ボタンをクリックします。
8. [ファイルのコピー元]にユーティリティCDをセットしたドライブのドライブ名(例: E:¥)を入力し[OK]ボタンをクリックします。
9. [モデル]に表示されたモニター名から「BUFFALO ＜製品名＞」を選択し、[次へ]ボタンをクリックします。
   ＜製品名＞には、お求めいただいた製品名が入ります。
10. Windows XPの場合は、「このハードウェア･･･(中略)･･･Windowsロゴテストに合格していません」というメッセージが表示されたら、[続行]ボタンをクリックします。
    Windows 2000の場合は、「次のハードウェアドライバをインストールします」と表示されたら、[次へ]ボタンをクリックします。
    次の画面で「デジタル署名が見つかりませんでした」というメッセージが表示されたら、[はい]ボタンをクリックします。
    ※本製品のドライバの動作確認は、弊社にて行っておりますので、インストールを続けてください。
11. [完了]ボタンをクリックします。
12. [閉じる]ボタンおよび[OK]ボタンをクリックして、開いている画面をすべて閉じます。

以上でインストールは完了です。

Windows Me/98/95をお使いの場合

※PC98-NXシリーズをお使いの場合、パソコン本体のマニュアルを参照して、「CyberTrio-NX」の動作モードをあらかじめアドバンストモードに設定しておいてください。

※Windows 95ではバージョンによって手順が一部異なります。次の手順で事前にバージョンを確認してください。

① デスクトップの[ﾏｲ ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ]を右クリックします。
② 表示されたメニューから[ﾌﾟﾛﾊﾟﾃｨ]をクリックします。
③ [ｼｽﾃﾑ:]に表示された文字列を確認します。この文字列がバージョンを表します。

Windows 95のバージョンは、4.00.950 / 4.00.950a / 4.00.950 B / 4.00.950 C の4種類あります。

1. [コントロール パネル]内の[画面]アイコンをダブルクリックします。
2. [設定]タブ(Windows 95では[ﾃﾞｨｽﾌﾟﾚｲの詳細]タブ)をクリックします。

   Windows 95(4.00.950/4.00.950a)の場合
   ① [ﾃﾞｨｽﾌﾟﾚｲの変更]ボタンをクリックします。
   ② [ﾃﾞｨｽﾌﾟﾚｲの種類]の[変更]ボタンをクリックします。

   Windows Me、98、95(4.00.950 B/4.00.950 C)の場合
   ① [詳細]ボタンをクリックします。
   ② [モニター]タブをクリックします。
   ③ [変更]ボタンをクリックします。
3. 付属のユーティリティCDをパソコンにセットします。
4. [ディスク使用]ボタンをクリックします。
5. [参照]ボタンをクリックし、ユーティリティCDの中にあるg722as3.inf ファイルを選択し、[OK]ボタンをクリックします。
6. [配布ファイルのコピー元]を確認して[OK]ボタンをクリックします。
7. [モデル(L)]に表示されたモニター名から「BUFFALO ＜製品名＞」を選択して[OK]ボタンをクリックします(＜製品名＞には、お求め頂いた製品名が入ります)。

以上でインストールは完了です。

Windows NT、Windows 3.1/DOS、Macintoshをお使いの場合

Windows NT、Windows 3.1/DOS、Macintoshを使用している場合は、ハードウェア情報の登録作業(インストール)は不要です。

画面で見るマニュアルの読み方 「液晶ディスプレイユーザーズマニュアル」

ユーティリティCDにはユーザーズマニュアル(PDFファイル)が収録されています。詳しい使いかた(OSD画面調整メニュー、困ったときはなど)はユーザーズマニュアルを参照ください。

＜ 参照方法 ＞
ユーティリティCDの中にあるmanual.pdfファイルをダブルクリックすると表示されます。(画面上で見づらいときは、紙に印刷してお読みください)

※ユーザーズマニュアルを読むには、Acrobat Reader(Adobe Reader)が必要です。お使いのパソコンにインストールされていない場合は、付属CD内の[AR505JPN.EXE](Windows Vistaの場合は[AdobeRdr_ja_JP.exe])をダブルクリックしてインストールしてください。Acrobat Reader(Adobe Reader)の使いかたは、Acrobat Reader(Adobe Reader)のヘルプを参照してください。

製品仕様

FTD-G722AS3シリーズ	
パネル	17型 カラーTFT液晶
解像度（最大）	SXGAサイズ（1280×1024ドット）
色数（最大）	1619万色(疑似フルカラー)
輝度（平均）	300cd/m^2
コントラスト比（平均）	700：1
応答速度	5ms
視野角度	上下170° 左右170°
入力信号方式	アナログRGB(0.7Vp-p/75Ω) セパレート同期信号(TTL)
入力端子	D-sub 15ピン（ミニ、3列タイプ）
DDC	DDC 2B
電源	100V AC±10% 50/60Hz
消費電力（最大）	40W（省電力モード時：1W以下）
スピーカー	出力1W（最大）×2
外形寸法	375(W)×393(H)×190(D) mm
重量	FTD-G722AS3：4.1kg FTD-G722AS3/F：4.9kg
動作環境	温度 10～35℃ 湿度 結露無きこと

※FTD-G722AS3/Fでは、パネルに保護ガラスが装着されています。取り外すことはできません。

※D-sub15ピン（3列）アナログRGBコネクタを装備していない機種で本製品を使用するときは、市販の変換コネクタを別途用意してください。

※最新の製品情報や対応機種については、カタログまたはインターネットホームページ（buffalo.jp）を参照してください。

J-Moss グリーンマーク

対応表示モード

ビデオ信号	解像度	ﾄﾞｯﾄｸﾛｯｸ(MHz)	水平周波数(kHz)	垂直周波数(Hz)
VGA	640×350	25.2	31.5	70
VGA(PC-98)	640×400	25.2	31.5	70
VGA	640×480	25.2	31.5	60
	720×400	28.3	31.5	70
VESA VGA	640×480	31.5	37.9	72
		31.5	37.5	75
VESA SVGA	800×600	36.0	35.2	56
		40.0	37.9	60
		50.0	48.1	72
		49.5	46.9	75
VESA XGA	1024×768	65.0	48.4	60
		75.0	56.5	70
		78.8	60.0	75
XGA	1024×768	78.4	57.7	72
VESA	1152×864	108.0	67.5	75
	1280×960	108.0	60.0	60
VESA SXGA	1280×1024	108.0	63.9	60
		124.9	74.4	70
		135.0	79.9	75
SXGA	1280×1024	134.6	77.9	72
MAC13" MODE	640×480	30.2	35.0	67
MAC16" MODE	832×624	57.3	49.7	75
MAC19" MODE	1024×768	80.0	60.2	75
MAC21" MODE	1152×870	100.0	68.7	75

※1280×1024ドット/60Hzでの使用をおすすめします。
※上記以外の信号でも表示できることがあります。
※上記の信号でも、最適な画面表示を得るためには調整が必要です。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。
ラジオやテレビジョン受信機（以下、テレビ）などの画面に発生するチラツキ、ゆがみがこの商品による影響と思われましたら、この商品の電源スイッチをいったん切ってください。電源スイッチを切ることにより、ラジオやテレビなどが正常に回復するようでしたら、以後は次の方法を組み合わせて受信障害を防止してください。
・本機と、ラジオやテレビ双方の向きを変えてみる
・本機と、ラジオやテレビ双方の距離を離してみる
・本機と、ラジオやテレビ双方の電源を別系統のものに変えてみる

本製品の規格に関して
弊社は、国際エネルギースタープログラムへの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。

＊弊社では、本製品の補修用部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を製造終了後5年間保有しています(弊社品質基準に適合した相当部品を含む)。保有期間が過ぎても故障箇所によっては修理可能なことがあります。詳しくはバッファローサポートセンターまでご相談ください。

使用済み液晶ディスプレイの回収・リサイクルについて
2003年10月1日施行の「資源有効利用促進法」に基づき、弊社ではご家庭で不要になった弊社製液晶ディスプレイの回収・再資源化を実施しております。
詳しくは、弊社サポート＆サービスホームページ **86886.jp** をご参照ください。